

【平成 30 年 1 月】

＜医療と介護の連携＞ 市内の訪問看護ステーションが集まって話し合いを行いました

1月10日（水曜日）午後6時から、市内訪問看護ステーション管理者懇談会の第2回目が大崎市医師会にて開催され、市内7か所の訪問看護ステーションの管理者等が集まり、訪問看護ステーションの現在の課題や、それぞれのステーションの取り組み等を話し合いました。

さまざまな規模のステーションがある中で、経営や人材育成をどのように行っているか、また「訪問看護」を関係職種にさらに理解してもらい、利用者が安心して在宅療養ができるためには何をすべきか等さまざまな課題が出され、まずは訪問看護ステーションのPRのためのリーフレットを作ろうと意見がまとまりました。今後も2か月に一回程度開催し、今回は課題解決に向けて取り組みの優先順位を決定し、具体的な取り組みを進めることが決まりました。

＜医療と介護の連携＞ 大崎地区看護職ネットワーク構築運営会議を開催しました

1月19日（金曜日）午後3時から大崎市図書館にて、平成29年度第二回大崎地区看護職ネットワーク構築運営会議が開催されました。この会議は、宮城県看護協会が日本看護協会のモデル事業として、大崎地区で病院・診療所・介護事業所など、さまざまな場所で働く看護職が、それぞれの特徴を生かし保健・医療・福祉をつなぐキーパーソンになろうということを目的に開催されています。

今年度はこの会議をきっかけに「大崎地区医療介護多職種劇団」が結成され、在宅医療をわかりやすくあらわした劇を講演したり、各地域で「看護職のつどい」が開催されたりしています。

＜認知症にやさしい地域づくり＞ 図書館で初の認知症カフェ「としよカフェ」を開催しました

1月20日（土曜日）大崎市図書館にて、大崎市認知症地域支援推進員・大崎市図書館主催による認知症カフェ「としよカフェ」が開催され、専門スタッフによる相談や認知症に関する資料の展示、弾き語りライブや幼児用の遊具スペースもあり、車いすのお年寄りから親子連れまで多数の来場がありました。

大崎市内では、地域包括支援センター等の認知症地域支援推進員が市内の介護事業所の職員とチームをつくり、さまざまな場所で「認知症カフェ」を開催し、認知症への理解を深め、気軽な相談や交流の場づくりをしています。



（問い合わせ）大崎市民生部高齢介護課 電話 0229 - 23 - 6085

<地域ケア会議の推進> 大崎市自立支援型地域ケア会議を開催しています

1月23日（火曜日）に平成29年度第8回大崎市自立支援型地域ケア会議を開催しました。

この会議は自立支援・介護予防の視点を踏まえて、高齢者のQOL（生活の質）の向上を目的に、医療・保健・介護の多職種で助言を踏まえたケアマネジメントを行い、生活の課題の明らかにし、利用者に合わせたケアプランの作成とサービスの提供につなげていくための会議です。

大崎市では、県内でも先進的にこの会議を開催し、自立支援型アセスメントの展開を進めています。この日は、全国的にこの事業を進めていく指導者であり、先駆けて実施している大分県より株式会社ライフリー代表取締役（作業療法士）佐藤 孝臣氏を講師にお招きし、多職種でどのように一人一人のアセスメントを考えるかを学びました。今後も、この会議を継続して開催し自立支援を進めていきます。

（問い合わせ）大崎市民生部高齢介護課 電話0229-23-6085

<地域を支える仕組みづくり> 宮城発これからの福祉を考える全国セミナーで大崎市の取り組みを発表

1月26日（金曜日）仙台市太白区文化センター楽楽楽（ららら）ホールにおいて、宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議主催の『宮城発これからの福祉を考える全国セミナー』が開催されました。国・県の地域づくりを支援する取り組みの報告や、10年後、20年後を見据えた地域づくりで県内市町村の取り組みの紹介があり、先進的な市町村として、大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の第1層地域支援コーディネーターが大崎市の取り組みを発表しました。

大崎市では、まちづくり協議会や地域づくり委員会が中心となり、地域支援コーディネーターを核として支え合いの地域づくりを進めていることや、市民協働推進部まちづくり推進課と民生部社会福祉課地域包括ケア推進室が一体となって地域をサポートしていること、今までの活動を生かした「池月を助け隊」（岩出山池月地区）の取り組みなどを発表しました。

その他の主な取り組み

<地域を支える仕組みづくり>

1月9日（火曜日）清滝地区民生委員協議会定例会において、大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が、清滝地区振興協議会で取り組んでいる「地域を支える仕組みづくり（生活支援体制整備事業）」について説明

<地域を支える仕組みづくり>

1月13日（土曜日）鹿島台まちづくり協議会健やか安心委員会において、大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が、大崎市で実施している「地域を支える仕組みづくり（生活支援体制整備事業）」について説明

<医療と介護の連携>

1月29日（月曜日）宮城県長寿社会政策課の視察受入（大崎市在宅医療・介護連携支援センターの取り組みについて）